

■ 立看板

900

海と日本PROJECT in 大分県
おおいたの海のモンダイを考える学習
磯焼け(いそやけ)について研究してみよう！

おおいたの海といえはみなさんどんなことを思い浮かべますか？

そのやっかいな問題のひとつとしてあげられるのが「磯焼け」という現象です。磯焼けはどうして起こるのでしょうか？まずは、小さい魚たちが暮らす藻類のことを調べてみましょう。

1 藻類(もほ)ってなんだろう…？
海藻がたくはばはえていくことを藻場といいます。藻場に小さな魚や貝類、イサナなどが暮らしていて、海のすみかのような働きをしています。

2 藻類(もほ)がなくなると…？
地け野原のように海藻がなくなってしまう状態のことを「磯焼け(いそやけ)」といいます。藻場が無くなると、そこに住んでいた魚たちも一緒にいなくなってしまうので、海の砂漠化(Sea Desert(シードザート))とも呼ばれています。

3 磯焼け(いそやけ)はなぜ起こるの？
磯焼けが起こる理由はいくつかあります。一番問題になっているのは、おもに海藻を食べている小魚や貝類が原因で起こる食害(しょくがい)です。地球温暖化の影響で、冬でも魚たちが動けず活発に動いているので、

4 磯焼け(いそやけ)は何がモンダイ？
藻場は、地球温暖化につながる二酸化炭素を吸収し、貯めてくれる「ブルーカーボン」の役割をしています。磯焼けがあるため、このブルーカーボンの役割が失われていき、地球温暖化に大きく影響が出てしまいます。

日本海と日本PROJECT in 大分県

(X1)

海と日本PROJECT in 大分県
おおいたの海のモンダイを考える学習
磯焼け(いそやけ)について研究してみよう！

磯焼けを防ぐためには…？

1 地球温暖化対策
磯焼けの原因のひとつが、地球温暖化による海水温の上昇です。温室効果ガスの排出を減らすことで、海水温の上昇を防ぐことができれば、藻場が育つ環境も守られます。

2 えんげいの環境を守る
生活で出る排水やゴミを適切に処理するだけでなく、赤潮・青潮の対策など、海の生態系の環境を守ることが必要です。

磯焼けを防ぐためには…？

3 海藻を食べるごみや魚の活用
ウチワイなどの海藻もよく食べる磯焼けの魚が暮らす藻場のことを磯焼けの季節のひとつで、たまには食べてみることも、実際に食べてみる、飼料にしたりすることも、実際に魚を活用することもできます。

TAKE ACTION

4 地球温暖化を減らすために私たちができること
地球温暖化を減らすためには、温室効果ガスの排出を減らすことが大切です。日常生活でできることを実践しましょう。

TAKE ACTION

5 藻場の環境を守るために私たちができること
藻場の環境を守るためには、赤潮・青潮の対策や、ゴミの分別など、海の生態系の環境を守ることが大切です。

今日学んだことをワークシートに書いてみよう！

今日学んだことをワークシートに書いてみよう！

日本海と日本PROJECT in 大分県

(X1)

■ POP(※ウッドラック)

900

海と日本PROJECT in 大分県
CHANGE FOR THE BLUE in 大分の活動について

わたしたちの暮らす大分県の海は4つの異なる海域に面していて、人々に豊かな海の恵みをもたらす、時には美しい景色をみせてくれるなど、人々の生活に欠かせない存在になっています。しかし、その海の豊かさの裏で、海洋環境の悪化や、海洋汚染、漁業の担い手不足などの様々な問題があることを、おおいたに住むみなさんは知っているでしょうか？

「海と日本プロジェクト」は、そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の協賛のもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

海と日本PROJECT in 大分
CHANGE FOR THE BLUE in 大分の活動について

「海と日本プロジェクトin大分」では、「大分の海を元々キャンベーション」と題し、豊かな海洋環境に恵まれる大分県を、「海のそとえ」「海洋環境」「魚種とその資源」の3点にわけて、市民の積極的な活動を行っています。今後の主な活動として、大分県内各地で開催して実施する海のそとえ企画展や、海の未来を担う高校生・大学生の積極的参加、大分県民の海で起こっている出来事とその課題についての取材報告などを行う予定です。また、「海ノ原プロジェクト」では、大分県内の海岸に伝わる漁具の展示をアニメーション化し、展覧会を通して子どもたちも参加し、地域の活性化や子供たちの学びの場を作る取り組みも行っていきます。

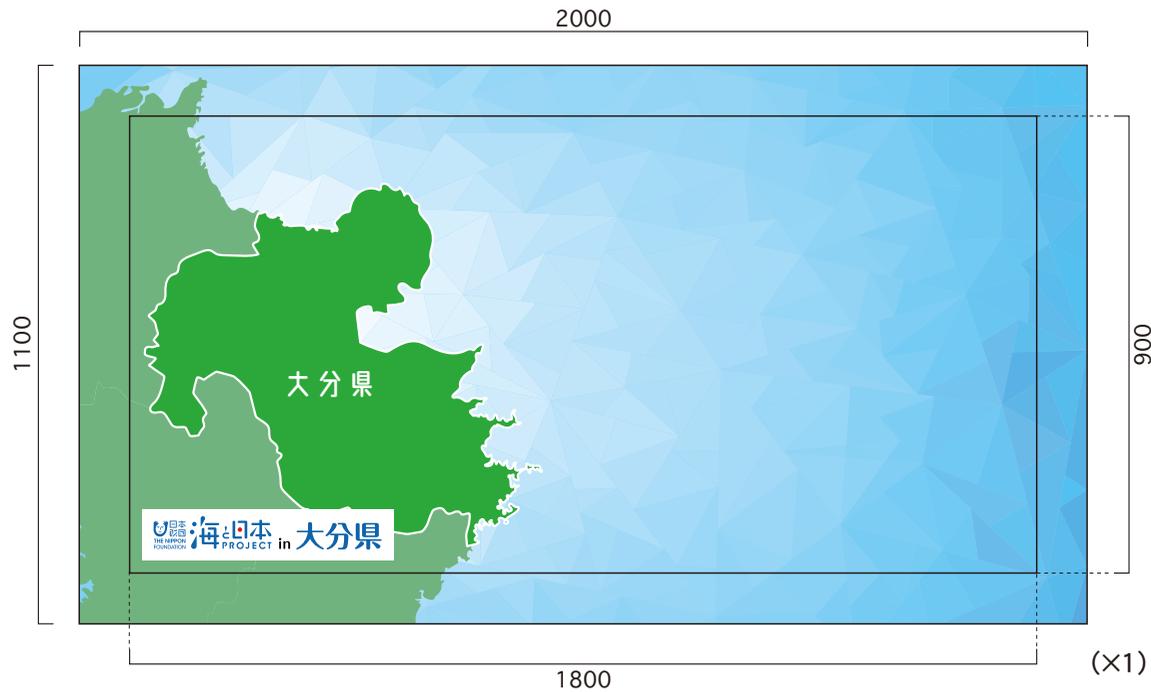
「CHANGE FOR THE BLUE in 大分」とは、「これ以上おきを出さない」という社会全体の意識を高めるムーブメントを促すため、高専時代からなる12のステークホルダーと連携し、海と日本プロジェクトを、国内外に展開するプロジェクトです。2020年から大分県でも取り組みが始まっています。恵まれた大分の海を次世代につなげていくため、大分県の発展に海洋と海についての関心を持ってもらい、海洋環境に対しての意識を高めてもらいたいと考えています。また、自然豊かなおとえと自然との調和を行い、さらに人として提出するごみの量を減らしていき動かしていただくための活動に取り組んでいます。

日本海と日本PROJECT in 大分県

(X1)

※出力機器の設定上、実物と多少色みが異なる場合がございます

■ジオラマ（※スチロール+塩ビシール出力貼り）



■ウッドラック(両面)

- 150
- 50
- ① 周防灘 (X1)
 - ② 伊予灘 (X1)
 - ③ 別府湾 (X1)
 - ④ 豊後水道 (X1)

【Scale:1/5】

【設置イメージ】



※出力機器の設定上、実物と多少色みが異なる場合がございます